

2019年9月18日  
株式会社東陽テクニカ

**5G のサービスを構成する NSA 方式に対応した  
ネットワーク・擬似試験を実演  
～“Nokia Connected Future 2019”で実証デモを公開～**

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝)は、2019年9月19日に開催される、ノキアソリューションズ & ネットワークス合同会社(以下ノキア社)が主催するイベント“Nokia Connected Future 2019”にて、ノキア社と合同で NSA 方式<sup>※1</sup>による 5G(第 5 世代移動通信システム)通信のデモンストレーションを実演いたします。

デモンストレーションには当社が国内総代理店を務める、通信・IT 関連測定器のリーディングカンパニーである Spirent Communications Inc.(本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下 Spirent 社)のモバイルコアノード・パフォーマンステスト & アクティブモニタ、「Spirent Landslide C50」を使い、端末、コアノード、基地局の各試験およびエミュレーションを行います。

※1：Non-Standalone 方式。既存の 4G(LTE)設備を活用し通信を行うことで 5G の早期の導入を目指す技術

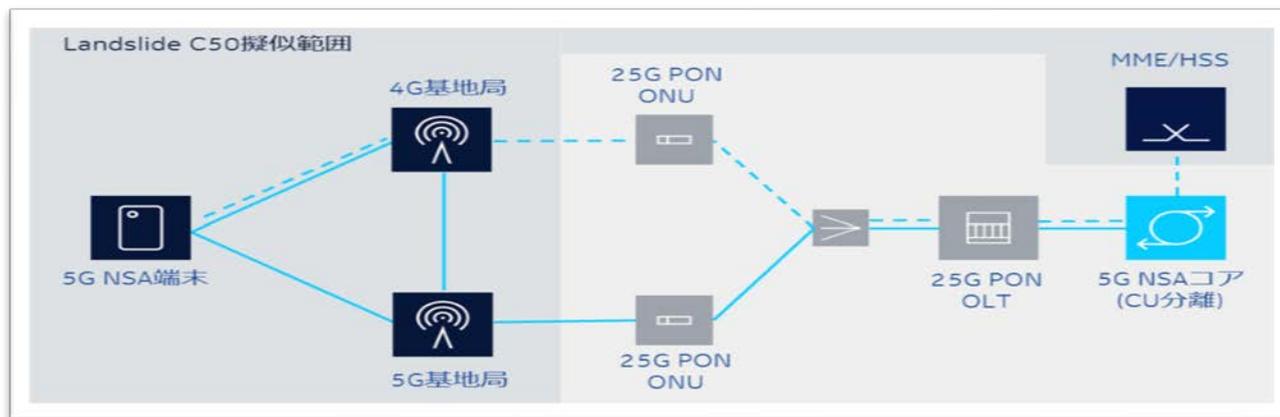
**【概要】**

ノキア社の「CMG (SPGW)」「(モバイルゲートウェイ)」、「ISAM (25G PON)」「(伝送装置)」と Spirent 社の「Landslide C50」を用いた 5G NSA 方式による 5G サービスのライブデモンストレーションを行います。モバイルコア部分は 5G SA<sup>※2</sup> アーキテクチャへの移行を容易にする CUPS(C/H プレーン分離)で構成します。

※2：Standalone 方式。4G(LTE)の設備を使用せず、5G ネットワークのみでの 5G 通信を行う技術

**【ノキア社代表執行役員社長：ジョン・ハリントン氏のコメント】**

日本ではまさに 5G が始まるようとしている直前の弊社イベントにて、東陽テクニカ様、Spirent 社のご協力のもと、NSA 方式での 5G サービスを実演できることを誇りに思います。近い将来の SA 方式への移行も見据え、今後もグローバルで培った知見を活かし、日本の 5G 商用化開始に向けたソリューション提供により一層注力してまいります。



### 【「Landslide C50」の主な特長】

「Landslide C50」は、モバイルコアネットワーク向けのパフォーマンステスト/エミュレータ/アクティブモニタです。大量の携帯電話、基地局、各種モバイルコアノード、ネットワークホストを擬似し、コントロールプレーンとユーザプレーンの双方に負荷をかけることで、モバイルコアノードの処理能力、過負荷、輻輳などの各種状況における挙動を測定・観測します。また、商用ネットワーク内のモバイルコアノードに対して直接通信し、ノードの死活監視、ネットワーク品質評価、障害箇所の特定、ネットワークの構成変更時や新規ノードの配置時の設定の確認を可能にします。モバイルネットワークの可視化、障害の予防、ダウンタイムの最小化、オペレーション業務の効率化に貢献します。さらに一般企業にも限られたエリアで周波数を割当て、5G を自営無線として利用できる「ローカル 5G」の利用を促進するために、通信環境の性能測定を容易に行える廉価ポータブル型アプライアンス「Landslide E10」も用意しています。

### 主な試験/エミュレーション対象

- ・5G NSA
- ・5G SA
- ・LTE EPC ノード(MME、SGW、PGW、PCRF、HSS)
- ・IMS、WiMAX、GPRS、UMTS
- ・Wi-Fi オフロードゲートウェイ(CAPWAP/DTLS、IPsec)/Wi-Fi AP
- ・課金/認証サーバ(RADIUS、Diameter、EIR、OCS/OFCS、CGF)
- ・セキュリティゲートウェイ(IKEv1/IKEv2)/DPI 装置/DRA/DEA



東陽テクニカは、今後も通信サービスを提供する通信事業者やサービスプロバイダおよび通信機器製造業者向けのテスト装置の提供を通じ、通信サービスの高速化と品質の向上に貢献してまいります。

## 【“Nokia Connected Future 2019”概要】

日時：2019年9月19日(木) 13:30 ～ 18:00 (受付・デモ展示 13:00～)

会場：グランドハイアット東京 (東京都港区六本木 6-10-3)

公式サイト：<https://nokiaconnectedfuture.com/>

## <Spirent Communications Inc.について>

Spirent Communications Inc.は米国カリフォルニア州サンノゼに本社を置き、IT・通信業で用いられる最新の技術、インフラストラクチャ、アプリケーションを評価するための先進的な測定器、測定手法を開発・提供しています。そのソリューションは研究開発ラボおよび通信事業者、通信機器製造会社、企業の IT 部門など全世界で幅広く使用され、業界のリーディングカンパニーとして長年にわたり通信事業の品質向上に貢献しています。同社のソリューションによって 400G イーサネット、LTE、無線 LAN、衛星通信、NFV、クラウド、IoT、M2M、ネットワークセキュリティなど、IT・通信に関わるあらゆる観点での性能・品質確認が可能になります。東陽テクニカは同社の国内における総代理店です。

## <株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最高水準の“はかる”技術の提供をコアコンピタンスとし、最先端の測定機器の輸入販売と自社開発製品の提供によって、官公庁、大学ならびに企業の研究開発を支援してきました。技術分野は、情報通信、自動車計測技術、環境エネルギー、EMC(電磁両立性)試験、海洋調査、ソフトウェア開発支援、ライフサイエンスなど幅広く、米国や中国の現地法人などを通じて世界にも提供しています。また、2016～2017 年にかけて新しい 3 組織「セキュリティ&ラボカンパニー」「技術研究所」「ワン・テクノロジーズ・カンパニー」を設立。サイバーセキュリティサービスの提供、自動運転車の開発支援、AI(人工知能)を使ったデータ解析など、新しいソリューションの創造に取り組んでいます。

「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、これからも産業界の発展と安全で環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部

TEL：03-3245-1250(直通)

E-mail：[ict\\_contact@toyo.co.jp](mailto:ict_contact@toyo.co.jp)

Spirent Landslide 製品サイト：<https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/landslide.html>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。